

## 第37期第6回常任理事会議事録

日 時：2013年1月29日（火）13時30分～17時40分  
 会 場：日本気象学会事務室（気象庁8階）  
 出席者：新野，藤谷，経田，近藤，徳廣，中村，藤部，  
 三上，余田，以上9名（常任理事現在数13名）  
 欠席者：岩崎，佐藤，田中，中島，以上4名  
 その他の出席者：田沢，萩原，渡辺（事務局）

## 議 事

1. 2012年度臨時総会議事録の確認
2. 第37期第5回常任理事会議事録の確認
3. 会員の新規加入等について  
 新入会員11，退会111を全会一致で承認。2013年1月28日現在，会員数3,662名で通常会員は1,039名。
4. 各委員会からの報告  
 庶務…

## 1) 転載許可

①申請者：東洋書店

転載元：

- ・第3図，第11図，第12図，2011年度秋季大会スペシャルセッション「放射性物質輸送モデルの現状と課題」報告，天気，Vol. 59 No. 4 239-250.
- ・Fig. 1, Fig. 3, and Fig. 4 of Kimura, F. & T. Yoshikawa, Numerical Simulation of Global Scale Dispersion of Radioactive Pollutants from the Accidents at the Chernobyl Nuclear Power Plant, J. Meteor. Soc. Japan, Vol. 66 No. 3 489-495.
- ・Fig. 1, Fig. 4, Fig. 5, and Fig. 6 of Sato, J., H. Sasaki & K. Adachi, Performance and Its Evaluation of the MRI Long Range Transport Model for ATMES-II Phase of ETEX, J. Meteor. Soc. Japan, Vol. 77 No. 6 1161-1176.

転載先：

- ・「SPEEDI（スピーディ）をどう活用するかー放射性物質の拡散予測とはー」，佐藤康雄著，東洋書店発行

## 2) 後援名義等使用依頼受付

①名称：第28回北方圏国際シンポジウム

主催：紋別市，オホーツク海・氷海研究グループ

期日：2013年2月17日～21日

場所：紋別市民会館，紋別市文化会館

名義：後援

②名称：第6回国際シンポジウム「都市・建築物へのウィンドエフェクト」

主催：東京工芸大グローバルCOEプログラム

期日：2013年3月6日

場所：ホテルサンルートプラザ新宿

名義：協賛

## 3) その他

- ・12月26日：岸保晶子様からご寄附300万円
- ・1月22日：平成24年度文部科学省実地検査の結果に基づく改善の実施状況報告書を提出
- 4) 刊行物の著作権移譲について，原則掲載した全ての著作物を対象とすることで了解した。また，対象としないものや移譲手順は各編集委員会で検討するよう依頼を行う予定とした。
- 5) 会員向け電子サービスの基本情報とする電子メールアドレスの収集と活用に関連して，多数宛先の一斉送信環境と会員情報管理ソフトとの連携についての調査状況の報告。

会計…2012年12月分の収支及び現預金検査報告。

天気…Vol. 60 No. 1（2013年1月号）の掲載記事と，Vol. 60 No. 2-4（2013年2-4月号）の予定記事の報告。

- ・電子版「天気」の公開サーバー移行の検討について，電子情報委員会と共同で進めていることが報告された。

気象研究ノート…第226号「台風研究の最前線（上）ー台風力学ー」と第227号「台風研究の最前線（下）ー台風予報ー」の発刊の報告。

SOLA…2012年の投稿論文数と受理論文数についての報告。速報性を確保する2ヶ月ルールを遵守していることが報告された。

講演企画…2013年度春季大会の準備状況の報告。

- ・電子版予稿集の販売に向けた検討状況の報告。ネット上にて会員を特定する情報が未整備であることなどの課題があり，2013年度春季大会での販売は行わない予定であることが報告され

た。

総合計画…公益法人移行後の委員会体制についての報告。広報・教育関連の体制について議論した。

- ・公益法人化に向けた規程類整備計画についての報告。

学術…日本学術会議における学術の大型施設計画・大規模研究計画の最近の動向と今後の予定について報告があった。

各賞…学会賞及び藤原賞候補者推薦委員会による2013年度候補者それぞれ2件の推薦が了承された。今後、全理事の投票を経て受賞者を決定する。

- ・貴重な研究をなした若手研究者と社会に多大な貢献をなした者をそれぞれ顕彰する新賞の設置と、それに係わる選定規程改定案等についての報告。新しい細則案の内容と新賞の推薦募集時期について議論した。

国際学術交流…日中韓気象学会共催国際会議の開催を2014年から AOGS 開催時に行うことの提案に対する、中国気象学会からの返信についての報告。賛同を得られていない現状について議論

し、返信で問われている AOGS と同時開催の提案の経緯を回答することを了承した。

電子情報…「東日本大震災への対応」ページの開設準備状況の報告。

地球環境…温暖化書籍出版事業の進捗状況の報告。

気象研究コンソーシアム…2013年度春季大会におけるスペシャルセッション「気象庁データを利用した気象研究の現状と展望」の準備状況についての報告。

5. 宇宙政策委員会による平成25年度宇宙開発利用に関する戦略的予算配分方針の内容について報告があった。事業の見直しが必要なものとして、陸域観測技術衛星3号 ALOS-3 の衛星開発や気候変動観測衛星 GCOM-C などが挙がっており、2012年12月25日の「『宇宙基本計画（案）』に関する見解」に続く発表を検討した。

平成25年2月27日

社団法人日本気象学会

議長 新野 宏

署名人 藤谷徳之助

署名人 経田 正幸